

実施教員	所 属	健康開発学科
	職・氏名	教授 柳澤 伸彰

テーマ	全身の健康を維持するために理解したい口腔の機能解剖学的役割		
実施目標 (高校生に何を学んでもらうか等)	咀嚼して食事を摂ることが、顎骨・口腔周囲組織のみならず、脳の発育の活性化にもつながる。栄養の摂取だけでなく、全身の機能の発達や維持と密接に関わっているため、咀嚼および嚥下について理解を深めてもらうことを目的とする。		
授業内容の要旨	「噛む」「飲み込む」のメカニズムについて、写真や動画などを用いて口腔・咽頭領域の基礎的な解剖学的知識をわかりやすく解説します。そして、学生と一緒に、その全身の健康へ及ぼす影響について考えていきたいと思っています。		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	実習	演習
対象人数	1～2クラス程度		
必要機材	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクター	<input checked="" type="checkbox"/> スクリーン	<input checked="" type="checkbox"/> パソコン (パワーポイント)
	OHP	その他( )	特になし
実施に当たっての その他留意事項等	原則、講義形式を考えていますが、演習的要素(咀嚼力判定等などのデモ実習)などを組み入れることも可能な場合がありますのでご相談下さい。		